

生涯学習センターの動向

高頭 麻子

生涯学習センターは、在学生・卒業生・一般市民の方々を対象に、学内外の生涯学習活動の連携を図りつつ推進することを目的として、公開講座事業・リカレント教育事業・相談事業・施設提供を行っている。下に主要な2つの事業について記述する。

2012年度の特記すべきこととしては、創立100周年記念事業として2001年に開設され、大学本部と地方の卒業生・通信教育課程生・父母などを繋ぐ中継地の役割を果たしてきた地域サテライトを、2012年度末をもって終了した。札幌・福岡のサテライトは、時代の先端技術を用いて、目白の公開講座のライブ中継をはじめ、自主講座の開催、通信教育の一端を担うなど、人的交流の場として、また学習や情報交換の場として、大いに活用されてきたが、安全性の不安などが浮上したこと、通信機器の目覚ましい発展などの理由により、十二分に役割を果たし終えたとの認識から、閉じられることになった。11年の間、両サテライトを支えてくださり、また各々独自のアイディアで活動を発展させてくださった運用委員の皆さまに、心より感謝申し上げたい。

<生涯学習センター公開講座>

目白キャンパスでの2012年度開設講座数は84、うち開講83講座、総受講者数2,887名、総延人数36,118名(Live受講者数含む)、西生田キャンパスでは、開設講座数77、うち開講75講座、総受講者数1,821名、総延人数24,055名であった。

受講料を無料で実施する特別講演会としては、前期(6月)に一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会との共催で、ドナルド・キーン氏「日本文学との出会い」、後期(12月)には厚生労働省社会・援護局長村木厚子氏「支えること、支えられること」を開催した。いずれも大変好評であったが、特にキーン氏の講演は、希望者が殺到したため、成瀬記念講堂では足りず、目白でも別室でテレビ中継を行ったほか、ライブ中継した札幌・福岡のサテライトにも多数の聴講者があった。

キャリア支援講座では、「消費生活アドバイザー試験対策講座〈家政経済学科共催〉」、「パターンメイキング基礎・応用講座〈被服学科共催〉」など、学部学科共催の講座にも力を入れている。授業の空き時間を活用し年間100レッスンを受ける「毎日学ぶ課外英会話講座」は両キャンパス合わせて435名の在校生が受講し今年も好評を得た。西生田キャンパスでは、地域性を生かし「西生田キッズレンジャー」、「大学のグラウンドで遊ぼう」、「地図から知る世界のすがた」、「南極から地球を観る」といった近隣の小学生親子向けの無料講座を提供したほか、「動物は人の心を理解できるか」、「ともに生きる!」といった

教育機関ならではの無料講座を地域に提供した。

また、「文京アカデミア講座」として3講座提供、キャリア講座を文京区民が割引で受講できる制度「資格取得キャリアアップ講座」を6講座提供、文京区実施の講演会・講座を「文京eラーニング」として3コンテンツの作成・配信などの文京区との連携や、川崎市民への前期3講座、後期5講座の無料提供などの川崎市及び多摩区との連携のほか、一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会や婦人国際平和自由連盟日本支部(WILPF)などの学園関係機関との連携講座の開講など、学内外の連携を深めている。

<リカレント教育課程>

2012年度の年間の入学者は32名、修了者は21名で、前年に続き震災の影響か、入学者が少なかった。2012年度修了者で再就職を希望する者15名のうち全員が就職し、就職希望者の就職率はほぼ100パーセント（非常勤を含む）を維持している。

入学者数の増加を図って、2012年度前期から入学・キャリア相談会を開き（前期5回、後期6回）、課程の内容を説明するとともに、希望者に個別のキャリア相談も行ったところ、とても好評で、入学にも結び付くようなので、今後も続けることにした。

8月と2月に本課程独自の合同会社説明会を開催しているほか、毎年幾つかの再就職支援イベントを開いているが、6月には、各界で女性の仕事・就職に携わってご活躍中のパネラー4名を招いて、シンポジウム「女性の再就職の今～先行き不透明な現在をいかに読み、いかに社会に必要とされる人材となるか～」を、10月には前年同様、修了生と現役生との懇話会を開催した。また、2012年度新設の「貿易実務」の受講生を中心に、貿易実務を専門とする人材派遣会社(株)バルキャリアールによる個別登録会を本学で開いた。

女性の潜在能力の開発が日本社会再生のカギともいわれる現在、本課程への注目は相変わらず大きく、2012年度も、NHK「クローズアップ現代」（7・8月取材のみ）、読売新聞（9月掲載）、AERA（11月掲載）、夕刊フジ（10月掲載）、大田区男女平等推進課季刊誌「パステル」（2012冬号掲載）、日本経済新聞（12月掲載）、GRAZIA（2月掲載）、フジテレビ「スーパーニュース」（2月放送）、NHK「あさイチ」（2月取材のみ）などのメディアの取材を受けた。また、民主党都連男女共同参画委員（7月）、筑波大学グローバルリーダーキャリア開発ネットワーク准教授／コーディネーター遠藤雅子氏（12月）、都議会民主政策調査会（3月）などが、本課程について調査・視察に来訪した。

本課程では、これからも、①新卒者にはない働く自覚と自信を備えた即戦力を養うためのカリキュラム（英語特訓、ITリテラシー、キャリアマネジメントを核として、多様な職種の基礎知識・技術と柔軟な対応力）と、②受講生・修了生一人一人へのきめ細かな就職支援に加えて、③講師・受講生・修了生・課程スタッフ・理解ある企業や日米の商工会議所・本課程を応援してくれる諸機関とのネットワーキングという3つの回路を通して、女性の潜在能力を開花させ、充実したキャリア生活を実現させたい、と考えている。

（たかとう まこ 文学部史学科教授・生涯学習センター所長）